

吉田財団設立40周年記念事業

令和7年度 教材活用状況報告書

公益財団法人吉田学術教育振興会

理事長 山倉修一 殿

学校名	福岡県立大牟田北高等学校
学校長名	紙田 壘
報告者	副校長 山浦 寿之
寄贈品	1.書画カメラ 2.ウェブカメラ 3.インタビューボード
《振り返り》	
教育的課題	1.3部制(朝昼夜)定時制課程(単位制)のメリットを教育活動に活かすこと。 2.生徒一人一人の学習歴とライフスタイルが異なること。 3.基礎から発展まで開設講座が多岐に亘ること。
教材活用の狙い	1.多様な教育的ニーズのある生徒を支援すること。 2.先進的ICT機器を充実させ教育効果を更に高めること。 3.マスコミ等の取材に対応できる環境を整えること。
目的達成の為の工夫	1.オンライン授業でICT機器を効果的に活用すること。 2.映像をリアルタイムで他の端末(PC・タブレット等)等に送信すること。 3.取材時のインタビューボード活用と愛校心を醸成すること。
《教材活用の効果・成果》	
活用状況及び、教育的課題の解決状況	(寄贈された教材を積極的に活用することにより) 1.生徒個々のニーズに合った授業展開が可能になったこと。 2.最先端の授業が提供できるようになったこと。 3.生徒の学ぶ意欲の向上につながったこと。 4.生徒の高校卒業後の第一志望での進路実現率が高まったこと。 5.インタビューボードの常時設置により愛校心の醸成につながったこと。
対象者・利用頻度	1.(書画カメラ・ウェブカメラ) 教職員及び生徒・・・毎週1回以上 2.(インタビューボード) マスコミ等の取材時・・・月1回程度
目的達成状況	1.オンライン授業や配信により教育効果が高くなったこと。 2.インタビューボード設置により愛校心の醸成につながったこと。
教育的効果についての所見等	寄贈いただいたこれらの教材を継続的かつ効果的に活用することにより、多様な学習歴を持つ本校生徒の学習上のニーズを満たしている。

活用状況の写真等(当日の様子など)



1 書画カメラ

教師が授業で活用したい時に随時利用している。視覚による説明は生徒の学習内容の理解に役立っている。



2 ウェブカメラ

授業だけでなく、始業式や終業式、外部から講師を招いた講演会で利用している。専用カメラは性能が良く、画質が大いに向上した。



3 インタビューボード

マスコミ等の取材、学校行事で活用している。学生ホール(共有スペース)に常時設置することで、生徒たちは学校スローガンを意識したり、校章を目にしたりすることで、愛校心の醸成にも寄与している。

今後の活用見通し・課題

寄贈いただいたこれらの教材は、今年度のみ利用にとどまらず継続的に利用することが可能であるため、更に利用の頻度を高める。課題としては、ICT機器は常に最新モデルが登場するため、数年後、買い替え等が必要になることも予想される。